

ネパールにおける山岳環境に生息する 野生動物保全のための地域社会強化

活動地域  ネパール



カメラトラップトレーニング風景

課題

ユキヒョウは山岳環境の希少なキーストーン種である。シェイボクスンド国立公園で地域コミュニティベースのユキヒョウ保全活動の基盤構築が求められる。

目標

ユキヒョウ保全活動への地域社会の参加を促す。ドルパで長期的な地域コミュニティベースのユキヒョウ保全イニシアチブの基盤を確立する。

活動内容と成果

ユキヒョウ保全のため、5つの地域でユキヒョウ保全委員会 (SLCC) を設立し、75人のSLCCメンバーと15人の公園スタッフをユキヒョウ保全調査のための市民サイエンティストとしてトレーニングを実施した (計7回)。およそ4,500km²のエリアに319台のカメラトラップを設置し、ユキヒョウ及び餌動物の個体数を調査した。また、100個以上のユキヒョウのものと思われる糞を採取し、遺伝解析及び生理学的状態の評価を実施した。また、250世帯にユキヒョウの生息状況の調査アンケートを行った。



シェイボクスンド国立公園

はじめる助成

1年目

調査研究

市民サイエンティスト
数 **90人**

カメラトラップ数 **319台**

今年度計画の達成度 **80%**

目標達成度 **80%**

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

突然の大雪などヒマラヤの不安定な気候条件によって一部のカメラトラップの回収が困難であった。

■ 工夫した点

天候不良等で調査地に入ることが困難だった際に、スタッフと市民サイエンティストの協力を得てデータ回収を実施した。



今後の
展望

本プロジェクトを通して地元のステークホルダー (国立公園、SLCC、市民サイエンティスト) のユキヒョウ保全に関する活動を強化し、外部支援がなくても保全活動を長期継続できるようになることを目指す。

44700 Lalitpur, Nepal
E-mail : info.cesnepal@gmail.com